

一月読みとりおけいこ⑦（中）

名前（ ）

二月の花と言えば、梅。ということで今日は梅の話です。

中国でも梅は愛されてきましたが、日本でも古代は花見というと桜ではなく梅を見ていたのだそうです。

寒さにたえて、まだまだ風も冷たい中でかわいらしく咲く姿はけなげですね。見る人の心にも、春の訪れをつけてくれます。そして、その香り。上品な甘い香りはバラやスイセンとはまたちがうすてきな香りです。まだ嗅いだことがないという人はぜひ嗅いでみてください。

そして、むかしから梅は実も大切にされてきました。みなさんも梅干しを知っていますよね。塩だけでおいしい保存食になるのですからかんたんです。最近はジップロックでつけるやり方もあり、とてもおいしくつかるので、一度みなさんもためしてみてはどうでしょう。白いごはんにぴったりの、しかも体によいむかしからの一品です。

それから、「梅肉エキス」。これは梅をことことにつめたもので、ものすごくすっぱいのですが、おなかが痛いときなどになめるとよくきく黒い常備薬でした。CMでもやっていますが、梅酒もつくることができます。みなさんは未成年なので飲むことはできませんが、もしかするとこれを大好きなおうちの方がおられるかもしれませんね。梅ジュースはさとうだけで作れます。

京都市内には北野天満宮や梅の宮神社、御所、植物園など梅の名所がありますが、少し市外に足をのばしてみると、青谷の梅林や月ヶ瀬の梅林などもあります。

四月のお花見もいいですが、一足早く、古代人の気分を味わって、梅のお花見にでかけるのもいいかもしませんよ。梅以外にもきっと新しい発見があることでしょう。

音読サイン→

①何の話でしょう？

②梅から作れるけれど、みなさんがまだ飲めないものは何ですか？

③梅と塩で何を作ることができますか？

④梅をつめると何ができるのですか？

⑤梅肉エキスは何にきくのですか？

（ ）がん（ ）おなかいた（ ）しもやけ

⑥みなさんにも飲める、梅からできるものは？

（ ）しようゆ（ ）さとう

（ ）きなこ（ ）しお

⑧梅の花は見るだけでなくせひどうしろと書いてありますか？

（ ）味わえ（ ）嗅げ（ ）梅干しを作れ

⑨あつているものに○をつけましょう。

（ ）月ヶ瀬や青谷は京都市内ではない。

（ ）古代人は薬屋で梅肉エキスを売っていた。

（ ）梅の宮神社は京都市内ではない。

⑩上の話の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？

